

警城時報

創刊日 昭和八年八月九日 印刷所 警城時報印刷部 電話 四一五

思つたより平穩であつた

小田炭礦總會

質問は續出したが 僅か一時余で散會

地方から少なからず注視されてゐる小田炭礦株主總會は二十八日午前十時野間村元山事務所内

八月二日校庭で

櫻井校長の校葬

遺骸は二十九日茶毘に附す 引きも切らぬ弔慰客

平町對福島縣知事の行政訴訟に小田炭礦は参加會社として

猪股博士の費用は小田吉治氏が個人として寄附した、大瀧發電所の権利は譲渡する契約をした。然しそれは地方官廳の認可なしには出来ないといふ事

二十六日午前六時三十分より同九時小名濱東嶺南四分の三南七十七海里鯨付大群にて大中小混合鯨千八百尾を釣獲す

同僚と飲食して

咽喉を刺殺す

豫審判事、検事等急行 昨夜内郷村の慘劇

群馬縣吾妻郡伊勢村大字五反田で遂に口論となり淺吉の氣勢が

掃立數も増えたし

好成績の夏秋蠶

養蠶同業組合の豫想

石城郡地方の夏秋蠶状況は夏蠶が結果左の如く十五点對零で

四倉球場開き

町青年團主催の新設コート開きを兼ねた宮城、福島、茨城三縣聯合庭球大會に就ては夫れ夫

警中に勝つ

警中野球部では去る二十三日から明治大學のコーチヤを招き

女優志願から 淪落の深淵へ 平署で取調中

大敷網視察

青年團に隨行して 飯村生

平青年團員は七月二十六日午前六時平發列車で湯本驛に下車、更に軌道車で小名濱停留所着、避暑中の團長三森虎雄

因に本團員の一人として救護班に携つた平看護婦會長清野キヨ子女士、團長三森虎雄等に餘宣の勢を附すと共に我等の便宜に見學に充當された白井氏に滿腔の誠意をこめて白井

識者欄

前署 磐城高等女學校校長櫻井賢文先生の悲報に接し驚き悲歎にくれて居ります。全校生徒並に其父兄は唯に限りなき悲しみに沈んで居ります。せめては私ども父兄としてどうか生徒一人につき少くとも金五圓の御悔を差上げて御慰めに供へ御遺族に幾分の御慰めを致し度同志のものと相談の上無名にて御社を通じて一般父兄諸氏に御相談旁々御願ひ申上げます。何卒御社の皆様御精々御盡力被下度呉々御願ひ申上げます。平町在住父兄より

陽胃 専門 内科 十二指腸虫病 婦人病 皮膚病 毒梅 専門 皮膚病 電話七〇一

▲且町のパーショップのKさん、所もあらうに青年團員の男ぐらみの小名行に細君と慕う姿の「熱を指し」ておつて一異彩を放つたオ樂じみを帯びて御運行。之を見た焼きつき炎天、物ともせぬ若者連ヒンヒン焼きもさ苦笑して曰く「パチパチ鉄の合理的心理サ」そこへ酒宴を酌む紅裙連「アノ女の方、女人でせう」に御亭主ゲイさん一向御存じないは飛んだ苦勞性の無い、甘やか昔のカフエーにでも浸つた氣がナシ (SSO生)

日卅 ウシデー メンチカツ 拾五錢 カフエータヒラ 平町一丁目(電話六二〇番)

平町間 自動車運轉開始 七月二十二日より(毎日午前七時より) 停留所 平町古鍛冶町天理教會前 同 好間村權現堂(元山入口) 貸切御申込の際は電話八番に御申越願ひます。 平町一丁目(谷口通り)

三井自動車營業所

女邦文一各採用 資格 高女生程度 年齢 二十歳前後 ▲自筆履歴書八月五日迄送附あれ 面會日通知す 勤務 午前七時から午後五時まで 倉町 磐城セメント株式會社

洋食 美味で評判のイウキ食堂 平町縣社通、電話四六〇番

夏は消化力が減退する 唯一の滋養牛乳を召しあがれ 過般帝都牛乳業者は遂に畜牛結核病防疫法違反者を出したため一般が牛乳に對する不安の念を起した事は國民健康上憂慮の極みです。故に石城郡内牛乳業者は今回監督官應指導の下に組合を組織し検査を受け一般が直ちに信頼し得る「完全な牛乳」を差上げる事にしました。 八月一日からメートル法により ニテシリツトル(一合二勺余)を 金八錢で差上げます。 石城牛乳衛生組合 石城郡鎌田町一丁目(電話五一番)

御宴會 五品御銚子一本付 金壹圓貳拾錢 蒲燒 御一人前 金壹圓貳拾錢 うな井 金七拾錢 右の通り大勉強致します。何卒御引立の程願ひ上げます。 大和家 南町(電話十四番)

三牛の日 牛肉大賣出し 上ヒレロース 八圓 中ロース 六圓 上ロース 四圓 肉鍋 四圓 料理部 ヒレ鍋 十圓 神戶肉を凌ぐ「石川自慢の牛肉」右の破格を以て「牛の日」大賣出し候間陸續御注文の程願上候。 牛鳥肉 石川亭 平町田町(電話四三番)

磐城無盡商會 本店植田町本丁 支店平町中丁

平町病醫院案内 赤心堂病院 田町(電話四七五番)

吉田眼科醫院 紺屋町(電話六八番)

藤沼醫院 紺屋町(電話五〇七番)

磐城病院 田町本通り(電話一一四番)

大和田醫院 南町(電話一七〇番)

原齒科醫院 土橋通り(電話三一三番)

高久病院 田町(電話一三五番) 松村病院 南町(電話一〇七番) 上田外科醫院 南町(電話二二九番)